

障 福 第 4167 号
平成 31 年 3 月 25 日

各障害児通所支援事業所 管理者 様
(指定都市、児童相談所設置市を除く)

神奈川県福祉子どもみらい局
福祉部障害サービス担当課長
(公印省略)

障害児通所支援事業所から市町村又は児童相談所への定期的な情報提供等について (依頼)

日ごろより本県の障害保健福祉施策の推進について、格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて標記について、本年 1 月に千葉県野田市で発生した小学校 4 年生死亡事案を踏まえ、「学校、保育所、認定こども園及び認可外保育施設等から市町村又は児童相談所への定期的な情報提供について」(平成 31 年 2 月 28 日付け社会・援護局障害保健福祉部長等連名通知)並びに「児童虐待防止対策に係る学校等及びその設置者と市町村・児童相談所との連携の強化について」(平成 31 年 2 月 28 日付け厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長等連名通知)が発出され、市町村又は児童相談所への定期的な情報提供を行う施設等に障害児通所支援事業所が加えられました。

また、「障害児通所支援事業所における緊急時の対応について」(平成 31 年 2 月 28 日付け厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長通知)が発出され、市町村又は児童相談所から定期的な情報提供の依頼があった児童に係る緊急時の対応について取り扱いが示されました。

つきましては、これら通知及び下記にご留意いただき、市町村又は児童相談所から定期的な情報提供の依頼があった場合には、積極的にご協力くださいますようお願いいたします。

記

指針の概要

1 障害児通所支援事業所が行う定期的な情報提供について

(1) 対象とする児童

障害児通所支援事業所に在籍する乳幼児のうち、市町村もしくは児童相談所が児童虐待ケース(以下「要保護児童」という。)として把握していて、いずれかから情報提供の依頼があったもの。

(2) 情報提供の頻度・内容

ア 頻度・・・概ね1か月に1回

イ 内容・・・依頼のあった期間内の事業所への通所の状況、
欠席した場合の家庭からの連絡の有無、欠席の理由。

2 緊急時の対応について

当該要保護児童について、不自然な外傷、理由不明の欠席が続く、虐待の証言が得られた、帰宅を嫌がる、家庭環境の変化など、新たな児童虐待の兆候や状況の変化等を把握した時、または、欠席理由の如何に関わらず、利用を予定している日に欠席し、その欠席日から数えて休業日を除き7日以上の間、当該児童の状況を把握できない場合は、定期的な情報提供の期日を待たずに速やかに市町村又は児童相談所に情報提供すること。

（ただし、保護者以外の者から当該児童の状況が把握できた場合は緊急時の対応をしないことができる。（例「保育所等に併行通園をされていてそこで状況が把握できた場合」））

3 個人情報の保護に関する配慮

上記の情報提供については、虐待防止法第13条の4の規定に基づき行われるものとなり、個人情報保護法に違反することにならない。また、同規定の趣旨に沿って行われる限り、刑法や関係資格法で設けられている守秘義務規定に抵触するものではないことに留意されたい。

（ 問合せ先
障害福祉課事業支援グループ 小川
電話 045-210-4732
）